

事業の名称 町田ターミナルプラザ事業

部名 経済観光部

課名 産業政策課

事業の目指すべき姿
 町田ターミナルプラザは、町田市と民間が区分所有している建物であり、1階は観光バスと路線バスが乗り入れるバスターミナル、2階は飲食店舗及び市民広場がある。
 中心市街地の活性化を促進するため、安全で便利な利用環境の提供や、買い物や飲食、イベントを楽しめる賑わい空間となることを目指す。

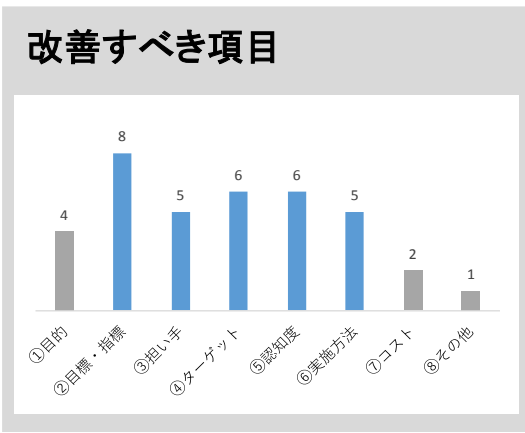
総合評価

評価結果

大いに改善すべき

各評価人の評価

よく取り組んでいる	0人
改善すべき	3人
大いに改善すべき	5人
廃止すべき	0人



評価人の意見

(1) 実施方法
 町田ターミナルプラザの開設から一定の期間を経過したことから、町田ターミナルビルだけの話ではなく地域一帯をどうするかという視点をもって、今後のあり方を検討する必要があります。
 ・事業開始から、相当な期間が経過しており、環境等が変化しているため、改めて事業のあり方を検討する必要があります。
 ・市民のニーズを把握したうえで、それに応じた事業を展開する必要があります。

(2) ターゲット
 事業のターゲットを明確にし、それらに合致した店舗構成、イベントや環境整備等を実施する必要があります。
 ・事業のターゲットを明確にし、それに合致した事業運営の実施及び店舗構成の検討等が必要である。
 ・例えば、子どもを連れてきやすいように、授乳スペースなどを確保することや、子どもと一緒に過ごせるような店舗・場所・環境を整備することが必要である。

(3) 目標・指標
 イベントなど特定の要因に結果が影響されることがないように留意したうえで、この事業の目標・指標を改めて検討し、得たい成果を端的に示す必要がある。
 ・事業の成果指標は、イベントなど特定の要因に結果が影響されることがないように計測する必要がある。
 ・長期的に実施している事業であるため、改めて目標・指標を検討する必要がある。
 ・目標・指標の検討にあたっては、中心市街地が何をもちて活性化したといえるのか、明確にする必要がある。

改善の基本的な考え方

(1) 実施方法
 市民ニーズや周辺地域の状況を踏まえて、改めて事業のあり方を検討する。

(2) ターゲット
 市民のニーズを把握したうえで、それに応じた事業運営等を実施する。

(3) 目標・指標
 事業の意義づけや成果を関係者と共有できるような、目標・指標について検討する。

事業所管課の改善に向けた具体的な取組

(1) 実施方法
 ①町田ターミナルプラザの今後のあり方や必要な機能は、施設単独で検討するのではなく、町田駅周辺の複数施設を含めたまちづくりでの検討が必須である。そのため、多摩都市モノレール延伸事業の町田駅交通ターミナル機能の再構築等や公共施設再編の中で施設のあり方を決定(2027年3月末)した後に、実施方法の検討に着手する。

(2) ターゲット
 ①施設のあり方決定までの当面の間、事業のターゲットを明確化する。
 ②ターゲットに合った事業運営を実施する。

(3) 目標・指標
 ①町田ターミナルプラザの賑わい創出や活性化が、何をもちて図られたのか分かるような指標・目標を新たに設定する。

目標

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①事業のあり方や必要な機能の検討	①検討着手 (2020年1月)	①検討完了 (2027年3月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①当面の事業のターゲットの明確化	①ー (2020年3月)	①当面のターゲットの明確化 (2020年7月)
②ターゲットに合った事業運営の実施	②ー (2020年3月)	②事業運営の開始 (2022年4月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①活性化の指標及び目標の設定	①ー (2020年3月)	①活性化の指標及び目標の設定 (2021年3月)

結果

実績値 (時点)	取組内容

実績値 (時点)	取組内容

実績値 (時点)	取組内容

事業の名称 町田ターミナルプラザ事業

部名 経済観光部

課名 産業政策課

事業の目指すべき姿
町田ターミナルプラザは、町田市と民間が区分所有している建物であり、1階は観光バスと路線バスが乗り入れるバスターミナル、2階は飲食店舗及び市民広場がある。
中心市街地の活性化を促進するため、安全で便利な利用環境の提供や、買い物や飲食、イベントを楽しめる賑わい空間となることを目指す。

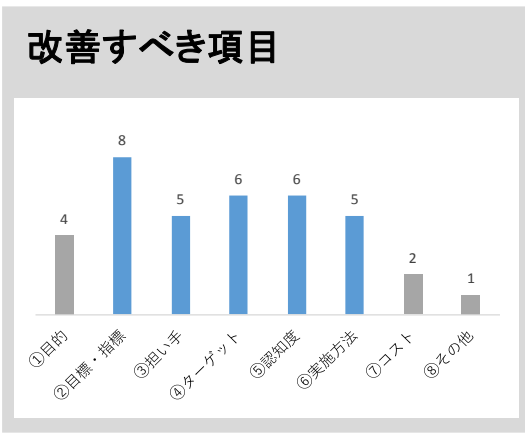
総合評価

評価結果

大いに改善すべき

各評価人の評価

よく取り組んでいる	0人
改善すべき	3人
大いに改善すべき	5人
廃止すべき	0人



評価人の意見

(4) 担い手
一定の期間を迎えた中で、市のターミナルプラザ運営への関わり方を再度考えることは、重要なことである。

- ・市が関与すべき部分、民間事業者が関与する方が効果的な部分を明確にし、最適な主体が担い手となるよう検討する必要がある。

改善の基本的な考え方

(4) 担い手
関係者を踏まえて協議し、市が関与すべき部分、民間事業者が関与する方が効果的な部分を明確にする。

事業所管課の改善に向けた具体的な取組

(4) 担い手
①(1)実施方法にて、町田ターミナルプラザの施設のあり方を決定(2027年3月末)した後に、担い手の検討に着手する。

目標

指標	現状値(時点)	目標値(時点)
①事業のあり方や必要な機能の検討	①検討着手(2020年1月)	①検討完了(2027年3月)

結果

実績値(時点)	取組内容

(5) 認知度
イベントを開きたいと考えたときに、何をどうすればよいか分かりにくい。イベントを開く方法や開催されるイベントのさらなる周知が必要である。

- ・イベントを開く方法、開催されるイベントを分かりやすく周知する必要がある。

(5) 認知度
現状の利用案内やイベント開催情報について、よりわかりやすく改善したうえで、ターゲットに応じた周知を実施する。

(5) 認知度
①市民広場の占用使用の申込方法を市民広場に掲出する。
②イベントスケジュールを市ホームページ及び市民広場に掲出する。

指標	現状値(時点)	目標値(時点)
①市民広場の申込方法の掲出	①ー(2020年3月)	①掲出完了(2020年5月)
②イベントスケジュールの掲出	②ー(2020年3月)	②掲出完了(2020年5月)

実績値(時点)	取組内容